

瀬谷区のあゆみ

明治元年（1868）	6月	瀬谷・宮沢・阿久和の三村は武藏知県事の管轄に、ニツ橋村は鎌山県に属し、同年12月に神奈川県に編入された
明治7年（1874）	6月	戸籍事務のための大区小区制施行、瀬谷地域は第17大区第6小区となった
明治22年（1889）	4月	横浜に市制が施行された。町村合併により瀬谷村（瀬谷・ニツ橋・宮沢）と中川村（阿久和・岡津ほか）が誕生した
明治23年（1890）	12月	阿久和給田町664に中川村役場新築開庁
大正5年（1916）	12月	瀬谷村役場が長天寺客殿より新庁舎（瀬谷2529）に移転した
大正12年（1923）	9月	関東大震災、瀬谷村で死者4人行方不明1人全壊戸数53戸
大正15年（1926）	5月	神中鉄道が二俣川・厚木間で営業開始 三ツ境、ニツ橋、瀬谷にそれぞれ停車場を設けた

戸塚区時代

昭和14年（1939）	4月	現瀬谷区域が第6次横浜市拡張計画により横浜市に編入、戸塚区瀬谷出張所（瀬谷町2528）中川出張所（岡津町237）を設置した
昭和17年（1942）	6月	横浜市民として初めての市議会議員選挙が行われた
昭和19年（1944）	4月	相模鉄道（神中）が大和・瀬谷間に電気運転を開始した（同年5月瀬谷・三ツ境間開始）
昭和24年（1949）	5月	瀬谷消防出張所を瀬谷町2590の1に設置した
昭和26年（1951）	3月	横浜市農業指導所をニツ橋町190に設置した
昭和32年（1957）	7月	横浜市水道局瀬谷詰所を瀬谷町1669に設置した
昭和37年（1962）	5月	阿久和町の一部を三ツ境とした
昭和39年（1964）	4月	瀬谷出張所が戸塚区役所瀬谷支所に昇格

瀬谷区時代

昭和44年（1969）	10月	横浜市行政区再編成により瀬谷支所管内に阿久和町及び新橋町の一部を加えて瀬谷区を設置した（面積 16.92 km ² 世帯数 20,318 人口 71,733 人）
昭和46年（1971）	6月	瀬谷区総合庁舎がニツ橋町190に完成
	7月	瀬谷公会堂が開館

昭和49年（1974）	4月	瀬谷区民会議が発足
昭和51年（1976）	4月	瀬谷市民の森がオープン
昭和52年（1977）	3月	瀬谷区休日急患診療所が開設
昭和53年（1978）	7月	区の人口推計が10万人を突破
昭和54年（1979）	10月	瀬谷区制10周年記念誌発刊
	11月	瀬谷区制10周年記念式典を挙行
昭和55年（1980）	11月	瀬谷センターが開館
昭和59年（1984）	10月	瀬谷区制15周年記念式典を挙行（瀬谷区の花・木・鳥を制定、記念像の建立、記念誌の発刊）
昭和60年（1985）	1月	瀬谷図書館が開館
	6月	瀬谷中央公園が開園
昭和61年（1986）	10月	三ツ境駅北口周辺整備が完了
昭和62年（1987）	11月	瀬谷スポーツセンターがオープン
昭和63年（1988）	4月	丸子中山茅ヶ崎線（南台入口～国道16号間）が4車線整備
	8月	瀬谷区のシンボルマークを制定
平成元年（1989）	9月	瀬谷区制20周年記念式典を挙行
平成2年（1990）	12月	区の推計人口が12万人を突破
平成3年（1991）	4月	下瀬谷小学校（現 瀬谷さくら小学校）コミュニティ・スクールが開設
	12月	ニツ橋在宅支援サービスセンター（現 ニツ橋地域ケアプラザ）が開館
平成4年（1992）	6月	長屋門公園歴史体験ゾーンがオープン
平成5年（1993）	5月	瀬谷中央公園内にこどもログハウス「まるたのしろ」がオープン
平成6年（1994）	10月	瀬谷区制25周年記念式典を挙行
	11月	宮沢ふれあい樹林、東山ふれあい樹林がオープン

平成 7年 (1995)	4月	南瀬谷小学校コミュニティ・スクールが開設
	5月	瀬谷区地域防災拠点を指定（小学校12、中学校3）
平成 8年 (1996)	3月	阿久和地区センター・阿久和地域ケアプラザが開館
		瀬谷町小川アメニティ事業完成
	7月	和泉川「東山の水辺」オープン
	12月	和泉川「関ヶ原の水辺」オープン
平成10年 (1998)	3月	相沢雨水調整池完成
	11月	和泉川「二ツ橋の水辺」オープン
平成11年 (1999)	8月	中屋敷地区センター・中屋敷地域ケアプラザが開館
	10月	瀬谷区制30周年記念式典を挙行
平成12年 (2000)	3月	瀬谷駅北地区土地区画整理事業が完了
	12月	環状4号線（日向山から横浜厚木線まで）の供用開始
平成13年 (2001)	8月	下瀬谷地域ケアプラザが開館
平成14年 (2002)	1月	瀬谷区のマスコットキャラクター「せやまる」を制定
	4月	相沢川親水空間（南台こどものもり公園付近）オープン
	5月	瀬谷本郷公園が一部開園
	11月	瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」が開設
平成15年 (2003)	4月	相沢川親水空間(現 瀬谷さくら小学校付近)オープン
平成16年 (2004)	3月	瀬谷駅南北自由通路が開設
	5月	東野中学校コミュニティ・スクールが開設
平成17年 (2005)	4月	瀬谷区民活動センターが開設
		環状4号線瀬谷跨線橋が開通
	7月	瀬谷駅区民窓口サービスセンターが開設

平成18年（2006）	1月	原中学校コミュニティ・スクールが開設
	3月	和泉川「宮沢遊水地」オープン
平成19年（2007）	1月	瀬谷区連合町内会が第11回防災まちづくり大賞（総務省主催）を受賞
	3月	三ツ境駅周辺地区交通バリアフリー基本構想作成
平成20年（2008）	2月	水と緑の健康ウォーク事業が（財）日本公衆衛生協会の衛生教育奨励賞を受賞
	10月	南瀬谷高齢者支援拠点「あって～南瀬谷」が開所
平成21年（2009）	10月	瀬谷区制40周年記念式典を挙行
平成22年（2010）	4月	瀬谷区証明発行センターが開設
	11月	現在の瀬谷公会堂が開館
平成23年（2011）	4月	せやまる・ふれあい館が開館
平成24年（2012）	2月	現在の瀬谷区総合庁舎が完成
平成25年（2013）	1月	瀬谷区証明発行センターが移転
	3月	和泉川「宮沢ふれあいの水辺」オープン
	4月	現在の瀬谷区総合庁舎駐車場が完成
	6月	二ツ橋公園自由広場の芝生化終了をもって4年にわたる瀬谷区総合庁舎整備事業が終了
		阿久和向原第二公園の地域見守り拠点「見守りの家」完成
平成26年（2014）	4月	日米合同委員会において上瀬谷通信施設の平成27年6月末までの返還が承認
	7月	瀬谷区地域福祉交流拠点「ぽかぽかプラザ」開設
	8月	瀬谷駅北口駅前広場民設民営駐輪場オープン
平成27年（2015）	6月	上瀬谷通信施設が返還
平成28年（2016）	3月	都市計画道路環状4号線（上瀬谷地区）が開通
平成29年（2017）	3月	瀬谷区証明発行センターが廃止
	4月	横浜市多機能型拠点「こまち」が開所

平成30年（2018）	3月	瀬谷団地連絡道路が開通
	4月	瀬谷みはらし公園が開園
	10月	細谷戸地域コミュニティ活動拠点「おあしづ102」が開所
平成31年（2019）	4月	瀬谷区休日急患診療所が二ツ橋町に移転
令和元年（2019）	9月	国際園芸家協会（AIPH）において、2027年国際園芸博覧会の開催申請が承認
	10月	瀬谷区制50周年記念式典を挙行
	11月	相鉄・JR直通線が開業
令和2年（2020）	3月	瀬谷区制50周年記念誌発刊
	4月	瀬谷本郷公園の拡張エリアが開園
		阿久和富士見小金台公園が開園
令和4年（2022）	3月	相沢第二雨水幹線の全線供用が開始
		瀬谷区民文化センター「あじさいプラザ」がオープン
	11月	博覧会国際事務局（BIE）において、2027年国際園芸博覧会が国際博覧会として認定
令和5年（2023）	1月	旧上瀬谷通信施設地区 既存米軍施設解体工事に着手
	3月	相鉄・東急直通線（相鉄新横浜線及び東急新横浜線）が開業
	11月	旧上瀬谷通信施設地区土地区画整理事業において仮換地指定を行い、順次、基盤整備工事に着手
令和6年（2024）	8月	脱炭素・GREENEXPO推進局上瀬谷整備事務所が開設